



『自分の未来』を考えてみよう

シートを使って未来のライフプランを描いてみよう！

lifedesign

q.1 自分にとって大切にしたいこと・興味があること

lifedesign

q.2 未来のライフプラン

	20代	30代	40～50代
なりたい自分			
仕事・学業			
パートナー (家庭・家族)			
趣味、その他			

lifedesign

q.3 10年後()歳の自分にメッセージ

令和5年度
社会人向けライフデザインセミナー

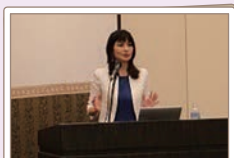
企業・働く人のための
ワーク・ライフ・バランスセミナー
～若手社員のライフデザイン、
経営者の経営戦略教えます～

日時 2024年2月7日(水) 13:30～15:00

講師 小室 淑恵氏

株式会社ワーク・ライフ・バランス代表取締役社長

企業の働き方コンサルティングを数多く手がける小室さんに、結婚を含むライフイベントの選択、ワーク・ライフ・バランスの充実、男性の育児休業取得等を踏まえた、将来設計を考えていく上でのヒントとなるお話をいただきました。



令和5年度
新婚世帯向けセミナー

プレママ・プレパパセミナー
〈ミキハウス×宮崎県× 明治安田生命〉

日時 2023年11月23日(木・祝)
午前クラス 10:30～12:40
午後クラス 15:00～17:10

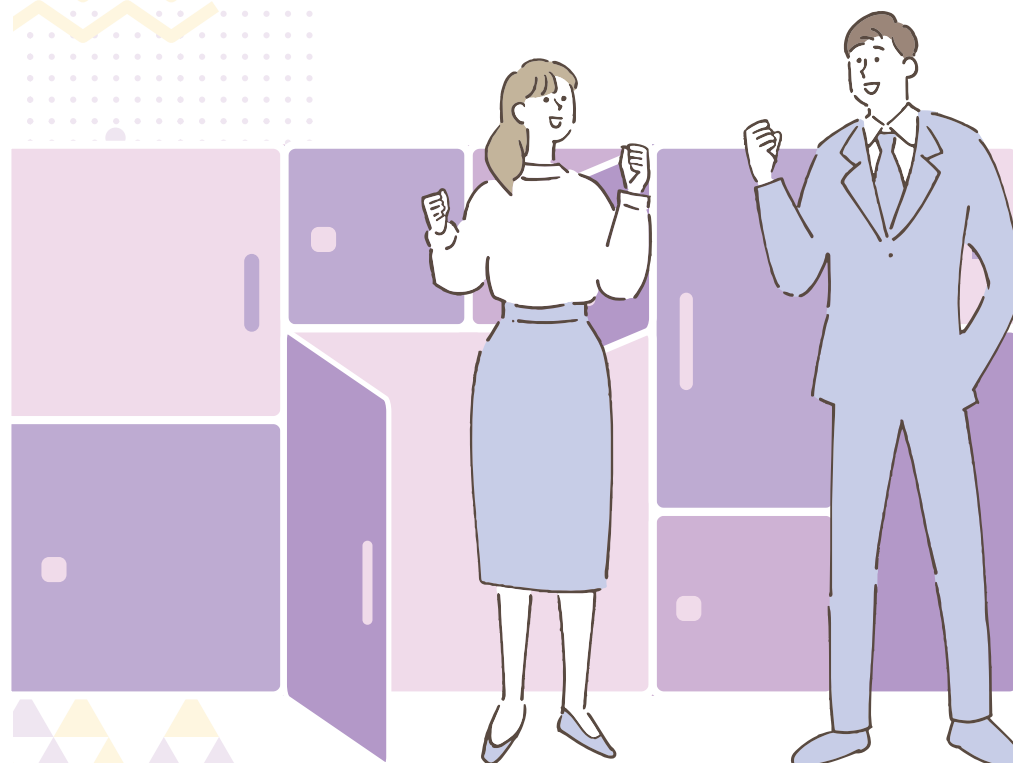
対象 妊婦さんとその同伴者

これから赤ちゃんを迎える妊婦さんとその同伴者さまを対象に、肌着の着せ方やおむつの付け方など赤ちゃんのお世話体験、多様なライフイベントについて考えるライフデザインセミナーなどを行いました。



自分で選ぶ **チカラ** が、未来を生きる **チカラ** に変わる

ライフデザインを 考えるために



なぜ今「ライフデザイン」？

社会が急速に変化していくなかで、個人の生き方も変わってきました。

変化やリスクに対応する柔軟性が必要とされるとともに、価値観も多様化してきたことで、

既存の考え方にとらわれない生き方が求められています。

また、人生にはさまざまな出来事(ライフイベント)があります。

ここにはこれから先起こりうるライフイベントについて、考えるヒントとなるデータを掲載しています。

自分たちの暮らしや生き方を具体的にデザインしてみませんか？

宮崎県は、それぞれのライフステージをサポートします！



ポータルサイトで
最新情報を更新中！

県内の出逢い・子育てイベント情報や
支援情報を分かりやすく掲載します。



ポータルサイト



instagram

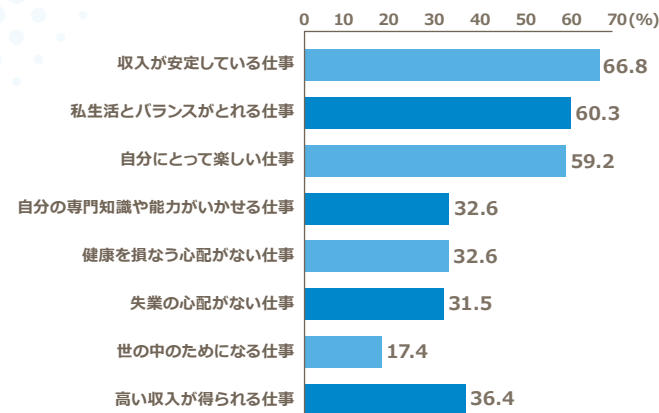
Instagramでも
情報を随時発信中！

就職・仕事

仕事において何を重視しますか？

全国の18歳～29歳の人にどのような仕事が理想だと思いかを聞いたところ「収入が安定している仕事」が最も多くなっています。次に、「私生活とバランスがとれる仕事」、「自分にとって楽しい仕事」が続くように、ワークライフバランスや自分に合った仕事かどうかにも重視されています。

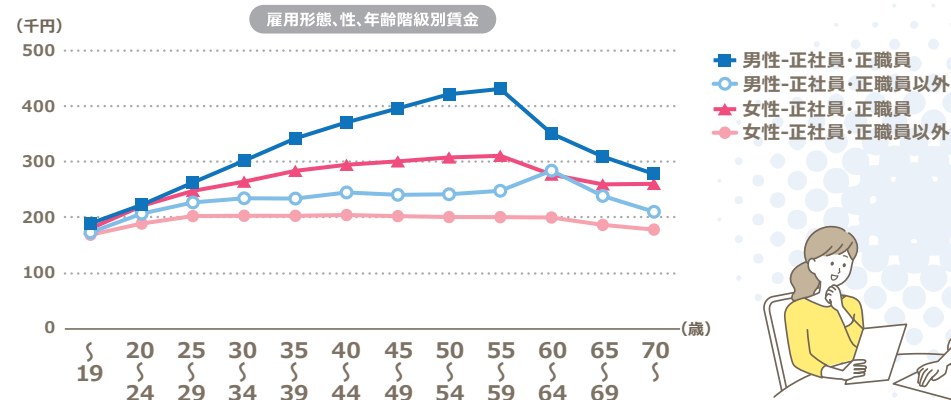
どのような仕事が理想的だと思うか(18～29歳) (複数回答)



出典:国民生活に関する世論調査(令和4年10月調査)(内閣府)

働き方で収入にどれくらい差がでる？

働き方は人によって様々。企業に勤める人、起業する人、家業を継ぐ人もいるかもしれません。ここでは雇用形態別、性別ごとに賃金を見てみると、「正社員・正職員以外」よりも「正社員・正職員」の方が、また「女性」よりも「男性」の方が賃金が高くなっており、それぞれ一定の差が生じていることがわかります。さらに、年齢階級別に見ると、「正社員・正職員以外」は、年齢が上がっても賃金の上昇があまり見られないことがわかります。



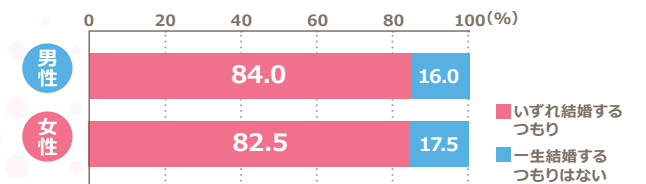
出典:令和4年賃金構造基本統計調査(厚生労働省)

パートナーについて

結婚についてどう考えている？

宮崎県の20代～40代の未婚者に結婚の意思を聞いたところ、男女ともに8割以上が「いずれ結婚するつもり」と答えています。あなたはどのように考えますか？

20代～40代の未婚男女の生涯の結婚意思



出典:令和元年度結婚・子育て意識調査(宮崎県)

晩婚化が進んでいる？

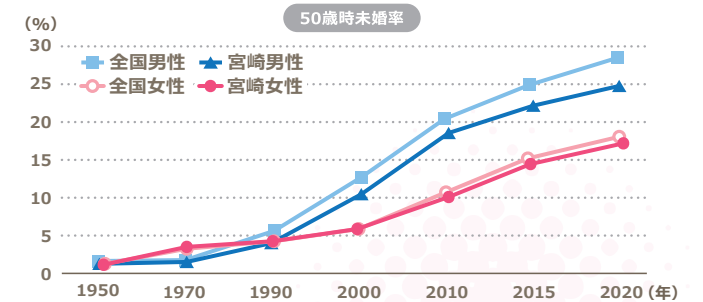
宮崎県の平均初婚年齢は男女ともこの30年で約2～3歳上昇しており、晩婚化が進んでいます。一方で、結婚のピーク年齢を見てみると、男女ともに実はこの30年であまり変わっていないことがわかります。



出典:令和4年 人口動態統計(厚生労働省)

未婚化が進んでいる？

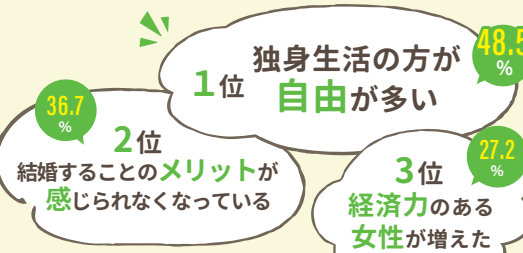
宮崎県の50歳時未婚率を見ると、この50年で急激に上昇していることが分かります。近年の婚姻件数の減少の背景には、少子化による若年者の減少に加え、未婚率の上昇があるとされています。



出典:人口統計資料集(国立社会保障・人口問題研究所)

宮崎県民に聞いた

「平均的な結婚年齢が上がった」
「結婚しない人が増えた」理由



出典:令和元年度結婚・子育て意識調査(宮崎県)

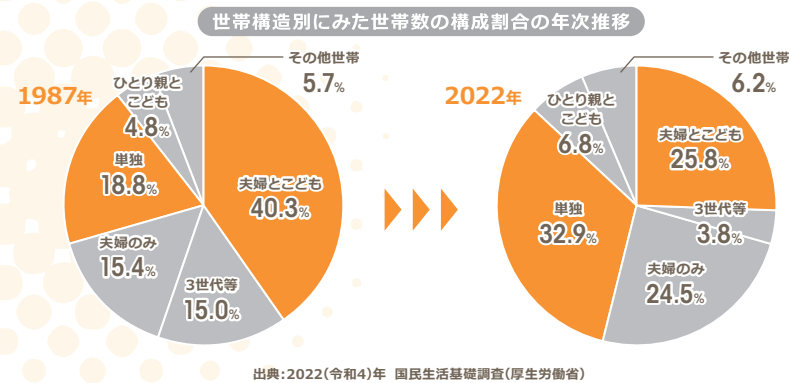
好きになる人が
異性とは限らない
～パートナーシップ制度～

2015年に渋谷区と世田谷区で国内初めての同性に対するパートナーシップ制度が誕生して以来、この制度を導入する動きは全国に広がり、現在では100を超える自治体で導入が進んでいます。宮崎県では、県内26市町村のうち、9自治体(宮崎市、延岡市、日南市、日向市、西都市、えびの市、新富町、木城町、門川町)がパートナーシップ制度を導入しています。

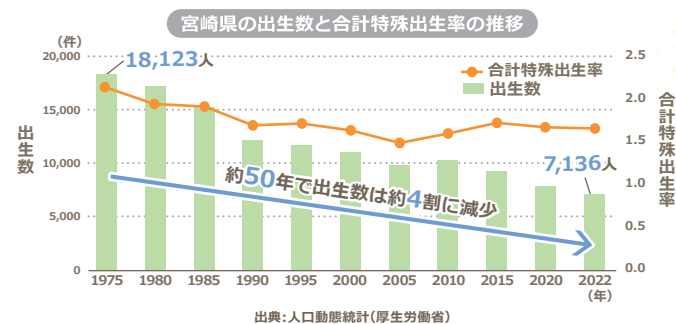
家族・家庭について

家族のカタチはさまざま

家族の姿は年々変化しています。ひと昔前までは全世帯の5割以上を「夫婦と子ども」「3世代等」の家族が占めていましたが、令和4年時点では「夫婦と子ども」世帯は25.8%に。一方で「単独」世帯や、「夫婦のみ」世帯の割合が増すなど家族のカタチは時代と共に変化しています。

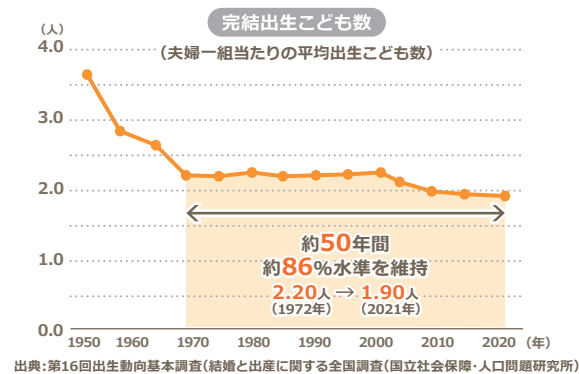


夫婦が持つ子どもの数はどう変化している？



宮崎県の出生数を見ると、約50年で約4割に減少していることがわかります。

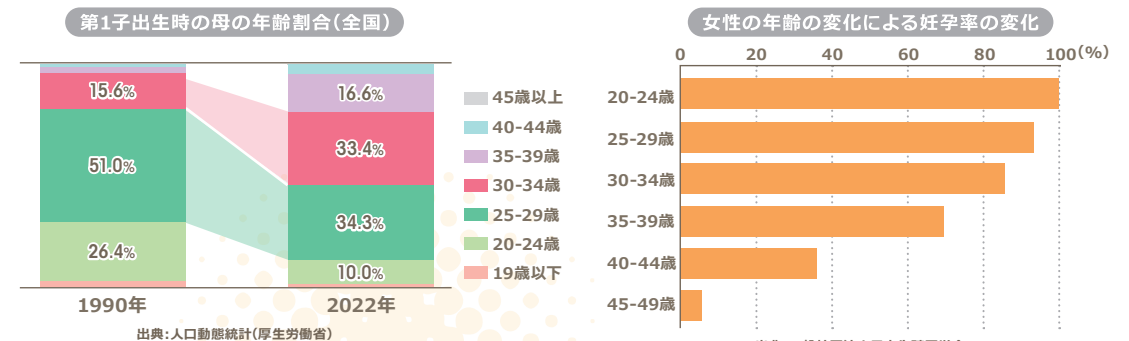
その一方で、夫婦一組あたりの平均出生子ども数に相当する「完結出生子ども数」を見てみると、約50年の間で2.20人から1.90人と微減となっています。出生数の大幅な減少の要因として、夫婦の持つ子どもの数の変化よりも、結婚する夫婦の数の減少が影響していると言えます。



こどもを持つなら何歳ぐらい？

全国の「第1子出生時の母の年齢割合」を見ると、この30年間で30代の割合が増えていることがわかります。一方で、女性が妊娠しやすいのは一般的に20代から30代前半とされており、その後は年齢とともに(特に35歳以降)低下するというデータがあります。

また、男性の精巣では、生涯を通じて精子がつくられますが、加齢とともに少しずつその機能が低下するといわれています。



出生順位別に見た父・母の平均年齢・宮崎県(2021年)

	総数	第1子	第2子	第3子
男性	33.4歳	31.7歳	33.8歳	35.1歳
女性	31.6歳	29.8歳	31.9歳	33.5歳

出典: 人口動態統計(厚生労働省)

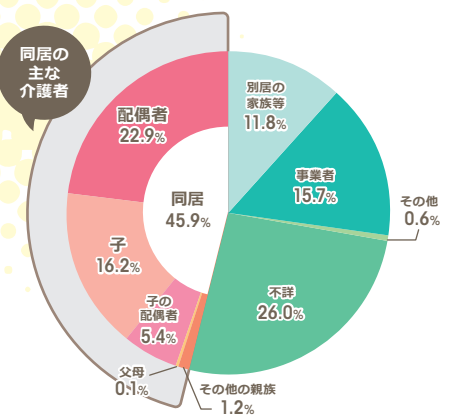
こどもを持つなら何歳くらいだろう？

親の介護はどうする？

もし親に介護が必要となった場合どうしますか？

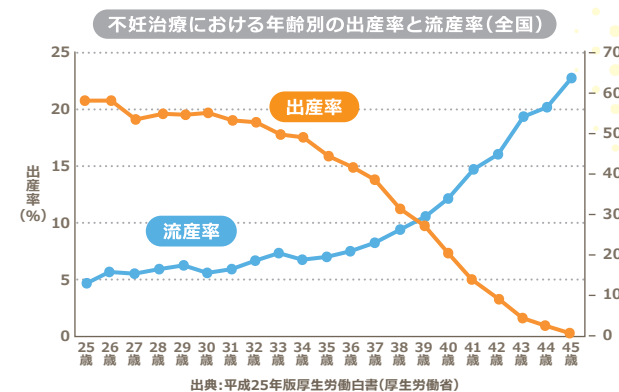
介護を必要とする要介護者からみた主な介護者の続柄では、同居している人が45.9%。その内訳では配偶者が最も多く、次いで子、子の配偶者と続いています。もしもに備えて親や身近な人と話しておくことも大切です。

「要介護者等」からみた「主な介護者」の続柄別構成割合



不妊治療の可能性は？

妊娠する力が低くなったとしても不妊治療するという考え方もあるかもしれません。右図を見てみると、不妊治療でも年齢が若いほど出産率が高く、高齢になるほど流産率が高くなっています。



ワークライフバランスについて

「ワーク」と「ライフ」 両立したい？

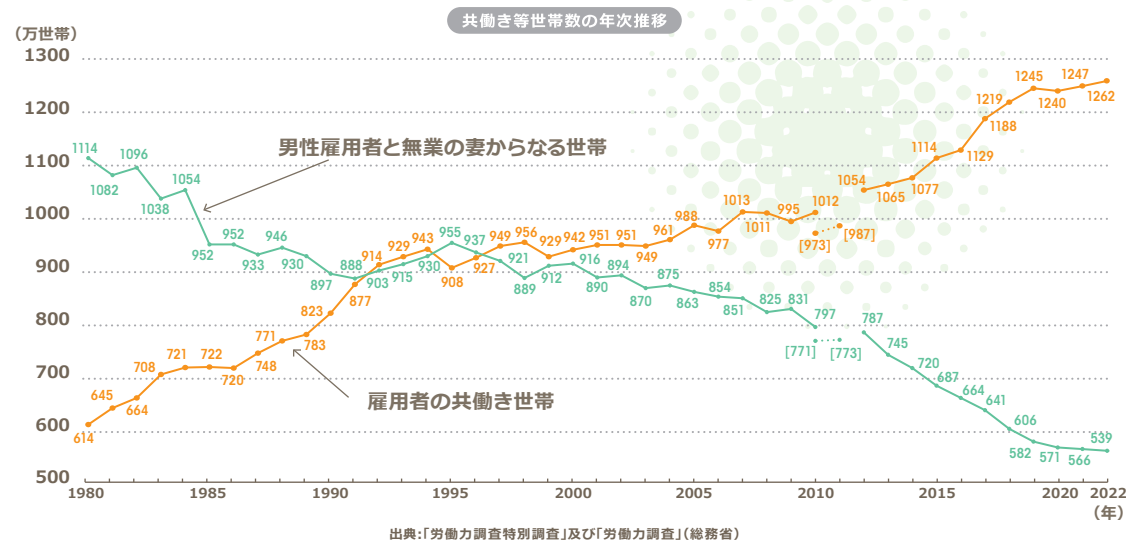
仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができないものであり、その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは増大します。性別や年齢にかかわらず、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会にするためには、個人はもとより、企業や自治体、社会全体が連携し「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指していく必要があります。



共に働く夫婦が多い宮崎県

全国的に共働き世帯が増えています。1997年以降、共働き世帯数が専業主婦世帯数を超え、その数は年々増加しており、現在では専業主婦世帯数の2倍以上となっています。宮崎県では約56.3%※が共働き世帯で、全国平均の51.2%を超えています。

※出典：令和2年国勢調査

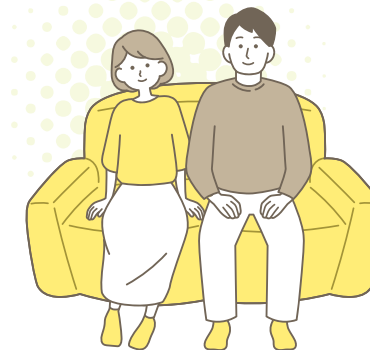


男性の育児参加の効果は？

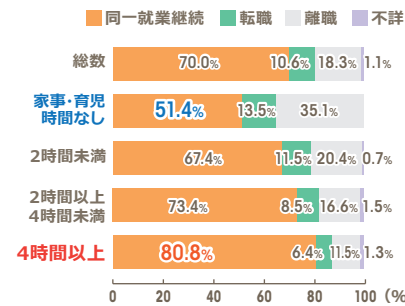
女性が家事や育児と仕事のバランスを取りながら働くためには、パートナーとの協力が不可欠。夫の家事育児の時間が長いほど、妻の出産後の継続就業割合は高く、さらに第2子、第3子を持てる可能性も高くなる傾向にあることが分かります。

一方で、厚生労働省の調査によると男性の育児休業取得率は17.3%※となっており、男性の育児休業取得の理解が進んでいるとはいえ、実際の取得率は伸び悩んでいます。

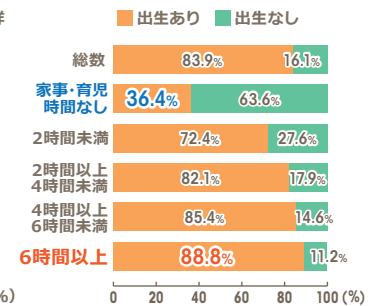
※出典：令和4年度雇用均等基本調査



夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の出産前後の継続就業割合



夫の休日の家事・育児時間別にみた第2子以降の出生割合



出典：第10回21世紀成年者縦断調査（厚生労働省）

男性育休でパートナーとの 良い関係を築く

女性は、産後のホルモンバランスの変化や授乳による睡眠不足、大きな生活の変化によって、「産後うつ」を発症することもあります。産後うつのピークは、およそ産後2週間から1カ月。この時期に夫が育児休業を取得し、ともに家事・育児を行うことで、妻の心身のケアはもちろん、子育てのストレス軽減もできます。男性育休は配偶者のパートナーシップや自分の働き方の改善にもつながります。男性育休の重要性は、こどもを望むかどうかに関わらず、育休を取得する人を支えるためにも社会全体で知っておく必要があります。



パパもママも、仕事と育児を両立できるように

**育児休業制度
特設サイトはこちらから**（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/ikuji/index.html

